

# 学びたいを 諦めさせない。

彼女はなんとか進路が決まり、  
来年からは働きながら、さいたまの学校に通うそうです。  
同級生の子ども達の様子を尋ねると、  
『はっきりとは言わないけれど、たぶん2割くらいの子は、  
進学をあきらめなければいけないことになっている  
それが、話していくと、なんとなく目でわかって…  
かわいそうでならない』と話してくれました。

～岩手県の仮設住宅に住む高校生と話した経験について～  
遠野まごころネット副代表・白澤良一



進学を志す被災地の子どもたちに、  
私たちができる支援のカタチがあります。

## 〈まごころサンタ基金〉奨学金 ご支援のお願い

【支援金の振込先】 岩手銀行 遠野支店（普通）2046338 口座名：トクヒ)トオノマゴコロネット



NPO法人 遠野まごころネット

〒028-0527 岩手県遠野市大工町10-10 遠野浄化センター内 Tel:0198-62-1001 Fax:0198-62-1002  
E-mail:tonomagokoro@gmail.com HP:<http://tonomagokoro.net/>

大きな悲しみを抱いて生きる3.11の子どもたち。

その多くがきびしい状況の中で進学を志しています。

やがて、この苦難を乗り越えた彼らの中から

故郷やこの国の復航の担い手が生まれるでしょう。

『まごころサンタ基金』は、

私たちの未来を拓く子どもたちへの贈り物ギフトなのです。

### ◇ 被災地の受験生100人以上に無利子・無返済義務の奨学金を支給 ◇

「まごころサンタ基金」は、平成23年・12月、非営利活動法人遠野まごころネットで行われた「サンタが100人やってきた!」プロジェクトの際、全国の支援者の方々からいただいた寄付金をもとに、被災した子どもたちのために創設されました。現在、この基金から支給される奨学金で、東日本大震災により進学に困難を抱えている受験生を支援しています。平成24年・春には、岩手県の大学・短期大学・専門学校受験生100人以上に無利子・無返済義務の奨学金を支給いたしました。

### ◇ 震災を理由に進学をあきらめて欲しくない ◇

東日本大震災で被災した子どもたちの中には、経済的な理由から進学をあきらめなければならない受験生がいます。人生にそうはない進学という貴重な機会を、個人の能力や資質ではなく、震災という理不尽な理由であきらめて欲しくはありません。

### ◇ 支援対象である奨学生の枠拡大を目指して ◇

被災地の子どもたちすべてを援けたいところですが、残念ながら予算には限りがあります。このため現在は暫定的に、遠野まごころネットと深い絆があり、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県の受験生を対象として支援を行っています。さらに多くの支援金が集まりましたら、支援の対象である奨学生の枠を、岩手県だけでなく宮城県や福島県の受験生に拡大することも、また、受験生だけに限定せず、高校生や中学生に拡大することも可能になります。被災地の子どもたちに将来への途を拓くため、何卒ご協力いただけますようお願い申し上げます。

支援金の振込先

岩手銀行 遠野支店（普通）2046338  
口座名：トクヒ)トオノマゴコロネット



【まごころサンタ基金に関するお問合せ先】

NPO法人 遠野まごころネット 事務局総務部 柳澤 亮（やなぎさわ まこと）博士